

クローズアップ 病気の実態

身近にあります! ! !

眼の 病気

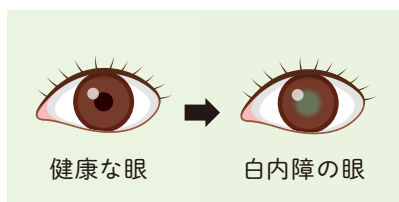


スマホで
簡単アクセス!

チラシの内容を
動画で解説しています。

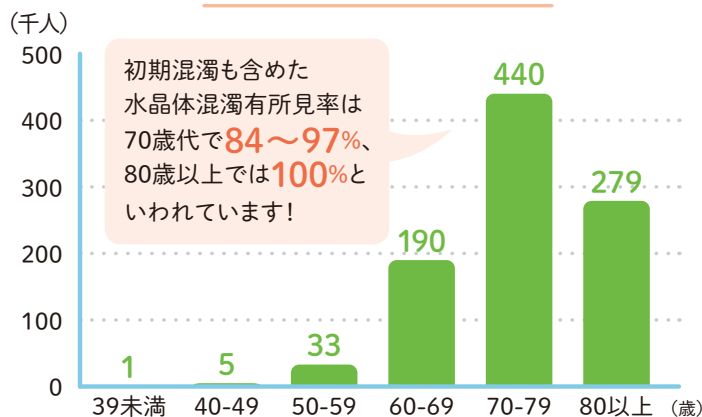


ご存知ですか? 白内障

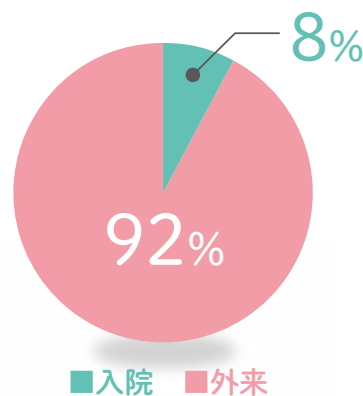


白内障とは、眼の中の「水晶体」と呼ばれる部分が白く濁る病気です。水晶体を構成するたんぱく質が変性し、黄白色または白色に濁ることにより発症します。白内障の治療をしている患者は日本国内に約94万人^{*1}おり、年齢が上がるほど白内障に罹るリスクは上がります。また、白内障手術は外来で行う割合が圧倒的に高くなっています。

白内障総患者数(年齢別)^{*1}



白内障 入院・外来手術の割合^{*1}



^{*1} 厚生労働省「患者調査(平成29年)」

白内障が発症する原因として、最も多いのは加齢によるものです。50代以降、白内障の患者数は増加します。水晶体が濁ること自体は年齢を重ねると多くの人に起こることから、一種の老化現象ともいえます。加齢以外に、アトピー性皮膚炎や糖尿病の合併症、眼の外傷や薬の副作用などが原因となりますが、これらは年齢に関係なく若い人にも起こります。このほか、白内障発症のリスクを高める危険因子として、喫煙、紫外線、アルコールなどがあります。

出典:「白内障」e-ヘルスネット <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/tobacco/yt-039.html> 厚生労働省(2020)
佐々木洋「白内障分類別治療指針、疫学からみた白内障分類」厚生労働科学研究費補助金(21世紀型医療開拓推進研究事業:EBM分野)
研究代表者:小原喜隆「科学的根拠(evidence)に基づく白内障診療ガイドラインの策定に関する研究」平成13年度総括研究報告書
厚生労働科学研究成果データベース閲覧システム
(<https://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=200100505A>) 2020年11月19日に利用

日帰り手術!? 眼の病気の治療事例

眼の病気では、手術を行う場合に日帰りで実施するケースが増えてきています。ここでは、白内障、緑内障、網膜剥離の治療事例についてご紹介します。

検査・治療費事例

■術前検査・手術(水晶体再建術 単焦点眼内レンズの場合)

■経過観察のための通院(手術後14日頃まで5回程度)

上記の治療事例をもとに、医療費合計18万円として自己負担金額(1ヵ月あたり)を算出

※高額療養費制度が適用される場合は適用後の金額となります。

約5万円(年収370万円～1,160万円の場合)



多焦点眼内レンズを選択された場合、種類によっては追加で約11万円～36万円程度*の費用がかかることがあり、追加費用は全額自己負担となります。
*アイケアクリニック銀座院の場合

白内障

検査・治療費事例

■術前検査・手術(緑内障手術)

■経過観察のための通院(手術後28日頃まで7回程度)

上記の治療事例をもとに、医療費合計19万円として自己負担金額(1ヵ月あたり)を算出

※高額療養費制度が適用される場合は適用後の金額となります。

約6万円(年収370万円～1,160万円の場合)



緑内障

検査・治療費事例

■術前検査・手術(網膜光凝固術)

■経過観察のための通院(手術後14日頃まで3回程度)

上記の治療事例をもとに、医療費合計10万円として自己負担金額(1ヵ月あたり)を算出

※高額療養費制度が適用される場合は適用後の金額となります。

約3万円(年収370万円～1,160万円の場合)



網膜剥離

注目! 「糖尿病性網膜症」について知る

上記の他にも、糖尿病の合併症として起こる眼の病気に「糖尿病性網膜症」があります。糖尿病が進行すると、眼底出血などの症状が現れることがあります。

検査・治療費事例

■術前検査・手術(硝子体切除術・硝子体置換術)

■経過観察のための通院(手術後28日頃まで7回程度)

上記の治療事例をもとに、医療費合計16万円として自己負担金額(1ヵ月あたり)を算出

※高額療養費制度が適用される場合は適用後の金額となります。

約5万円(年収370万円～1,160万円の場合)

糖尿病性網膜症

※治療費の他にも、交通費など高額療養費制度の対象とならず全額自己負担となる費用もあります。

※検査・治療例と費用は、あくまでも一例であり、個人により症状・治療内容が異なる等の理由から、実際の金額とは異なる場合があります。

[事例・費用監修]アイケアクリニック銀座院 [2021年1月時点]

監修:アイケアクリニック銀座院 佐藤 香先生より

眼の手術といえば「入院」というイメージを持つ方が多いかと思いますが。しかし医療技術の進歩により、白内障をはじめ、これまで入院を必要としていた緑内障や網膜剥離など多くの眼科疾患の日帰り手術が可能になってきています。眼の病気は「早期発見」と

「早期治療」が何より重要です。あなたの大切な目を守るために、相談できる「目のかかりつけ医」を持つとともに定期的な検査も続けてください。

[企画・制作]

Aflac

アフラック

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
<https://www.aflac.co.jp/>

本資料は、一般的な情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品を推奨・勧誘するものではありません。